

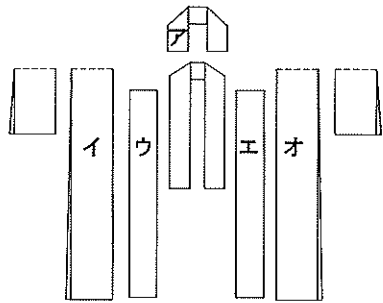
1級（和服）筆記問題

1. ひとえ長着の製作について(1)から(3)に最も適する語句をアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

長着は和装の中心となるものである。一般に“(1)”といった場合、和服の総称として用いることが多いが、単に(2)のことをさす場合もある。現代のひとえ長着としては、若い人にも親しまれているものとして、夏の(3)がある。

ア きもの イ 小袖 ウ おとな エ 大裁 オ 長着 カ ゆかた

2. 下図は前から見たひとえ長着の基本的な各部の構成図（外表）である。(1)・(2)の問いに答えなさい。



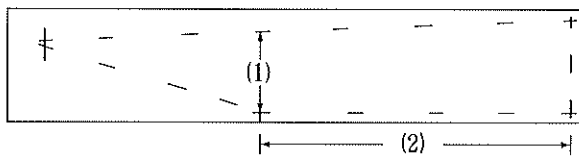
- (1) ア の名称を解答欄に記入しなさい。
- (2) 上前身ごろをイからオまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

3. ゆかた地一反で、女物ひとえ長着（くりこし揚げをしない）を下記のできあがり寸法に仕立てる。(1)・(2)を裁断する場合、裁ち切り寸法として最も適するものを、アからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

<できあがり寸法> そでたけ 45cm 身たけ 155cm おくみ下がり 23cm えり下 78cm

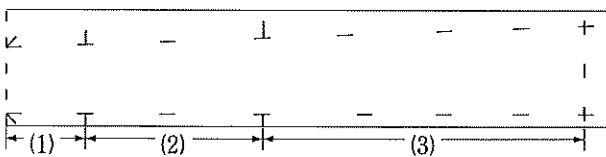
<裁ち切り寸法> (1) 身たけ (2) そでたけ
 ア 48cm イ 45cm ウ 152cm エ 150cm オ 157cm

4. 下図は女物ひとえ長着のおくみのしるしつけを示している。下記のできあがり寸法を用いて、(1)・(2)の部分のしるしつけ寸法を解答欄に記入しなさい。



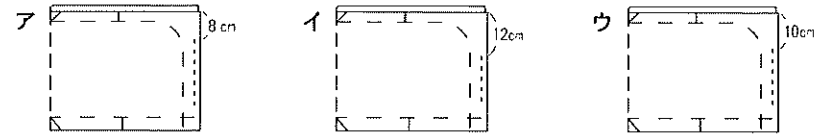
できあがり寸法
 ・おくみたけ 130cm
 ・おくみ幅 15cm
 ・えり下 77cm
 ・合づま幅 13.5cm

5. 下図は女物ひとえ長着のばちえりのしるしつけである。(1)から(3)の寸法をアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



ア 裁ち切りえり肩あき+0.5~0.8cm
 イ 裁ち切り身たけ-おくみ下がり寸法
 ウ おくみのえりつけ寸法
 エ おくみ下がり
 オ おくみつけ寸法
 カ えり肩まわり

6. 下図はそで下の袋縫いの中縫いを示している。最も適するものを、アからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。（ただしそでの丸みは10cmとする）



7. 女物ひとえ長着にさらしもめん45cmのいしき当てをつけるとき、その回り（上・下・左右）の縫い方で最も適するものを、アからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

上 下 左右
 ア 伏せ縫い……………三つ折りぐけ……………本ぐけ
 イ 耳ぐけ……………伏せ縫い……………本ぐけ
 ウ 折りぐけ……………伏せ縫い……………耳ぐけ
 エ 折りぐけ……………折りぐけ……………三つ折りぐけ

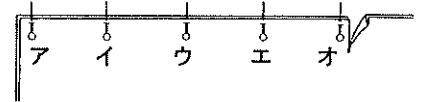
8. ゆかた地で女物ひとえ長着を仕立てるとき、わき縫いしろの始末で最も適するものを、アからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 本ぐけ イ よりぐけ ウ 耳ぐけ エ 三つ折りぐけ

9. 女物ひとえ長着の背縫いについて、次の各問いに答えなさい。

(1) 下図はまち針をうつ位置を示している。①・②について、最も適するものをアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

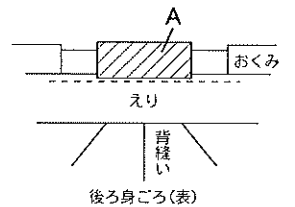
- ① 1番目に打つ位置
- ② 2番目に打つ位置



(2) きせのかけ方について、図中の①・②に最も適するものをアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(①)cmのきせ
 (②)後ろ身ごろ(裏)
 ア 0.2 イ 0.1
 ウ 左 エ 右

10. 右図は、ひとえ長着のえりにしんを入れた部分である。図中Aのしんの名称を解答欄に記入しなさい。



問題	1			2		3		4		5			6	7	8	9				10
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)				(1)		(2)		
																	①	②	①	
1級和服(第45回)																				
解答									cm	cm										
得点																				
学校名	高校				学年		組		番号			氏名				合計				

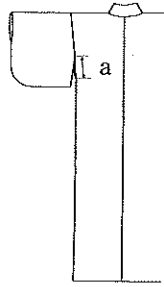
1級（和服）筆記問題

1. 次の文は寸法の決め方について述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) はおおよそからだにあわせて着用する衣服なので、(2) のようにこまかく寸法をあわせる必要はない。しかし、形よく着用するためには、ある程度(3) にあわせて仕立てる必要がある。

ア 身長 イ 和服 ウ 背中心 エ 洋服 オ 後ろ幅 カ 体型

2. 下図は女物ひとえ長着のできあがり図である。aの名称を解答欄に記入しなさい。

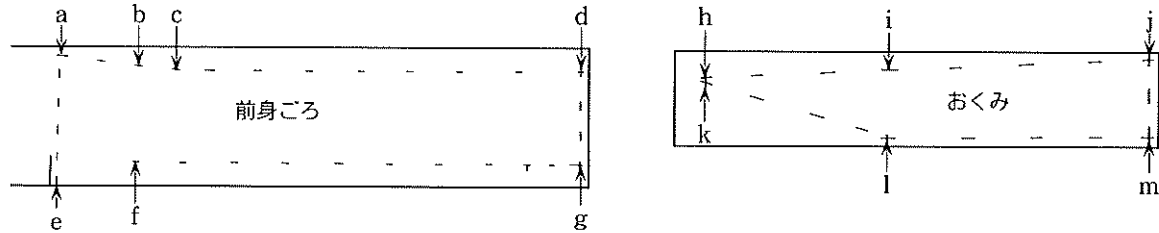


3. 次の女物ひとえ長着の布の見積もり方である。(1)から(3)に最も適する数字を、アからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(同じ記号を二度使用してよい)

総用布=裁ち切りそでたけ×(1)+裁ち切り身たけ×(2)+裁ち切りおくみたけ×(3)

ア 4 イ 5 ウ 2 エ 3 オ 10

4. 下図は女物ひとえ長着の前身ごろとおくみのしるしつけを示したものである。(1)・(2)の問いに答えなさい。



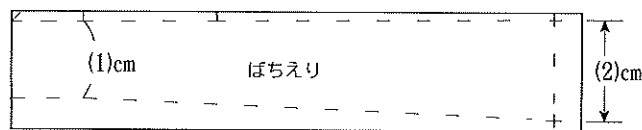
(1) えりのしるしつけをするときに必要な寸法を、アからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア kからlまで イ lからmまで ウ aからeまで

(2) おくみ下がりの寸法が関係する箇所を、アからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア hからiまで イ aからbまで ウ eからfまで

5. 下図は女物ひとえ長着のばちえりのしるしつけである。(1)・(2)に最も適する数字をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



上えり幅 5.5cm
下えり幅 7.5cm

ア 5.6 イ 11.1 ウ 7.6 エ 15.1

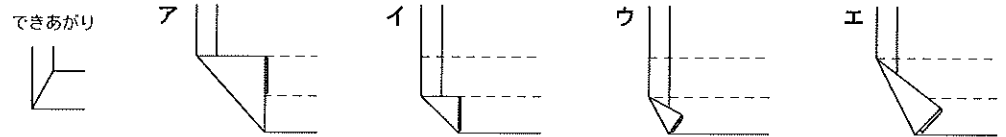
6. 次の文は女物ひとえ長着の縫い方について述べたものである。文中の()に最も適する語句、または数字を解答欄に記入しなさい。

- (1) わき縫いしろは、前身ごろの方に倒し、縫いしろの始末は()にする。
- (2) えりぐけは、()にする。
- (3) えりつけには()cmのきせをかける。

7. 下図は肩当て布と身ごろの背縫いの中とじを示したものである。ア・イのうち正しい方を選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



8. 下図のようにつま先を仕上げる場合、折り方で最も適するものを、アからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. 次の文は、おくみの作り方とおくみつけの方法について述べたものである。(1)から(3)に適する数字または語句をアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

おくみつけは前身ごろとおくみを中表にあわせ、(1)側からつり合いよくまち針をうつ。すそは(2)cm返し縫い、(3)では小針に1針返して、縫い込みの方へ斜めに縫い返す。

ア けん先 イ つま先 ウ 前身ごろ エ おくみ オ 3 カ 5

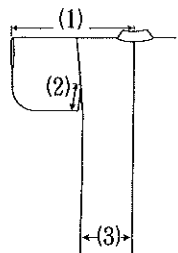
10. 次の(1)から(5)は、女物ひとえ長着のそで作りについて述べたものである。縫い方の順序で、最も適するものを、アからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(丸みの大きさは10cm)

- (1) そで口を折り、三つ折りぐけをする。
 - (2) 丸みの地縫いより、0.5cm外側をぐし縫いする。さらに0.5cm外側をもう1本縫う。
 - (3) 布を外表にして、そで下袋縫いの中縫いをする。きせをかけて裏返し、そで裏を出す。
 - (4) そで下・丸み・そで口下の縫いしろをきせをかけて、前そで側へ折り、丸み型を入れ、糸を引きしめ、きれいな丸みに整える。丸みのひだ山は前そでにとめる。
 - (5) そで下・そで口下縫いをする。そで下はふりの方から縫い始め、そで口どまりまで縫う。
- ア (5)→(2)→(4)→(3)→(1)
イ (1)→(5)→(3)→(2)→(4)
ウ (3)→(1)→(5)→(2)→(4)
エ (3)→(5)→(2)→(4)→(1)

問題	1			2	3			4		5		6			7	8	9			10
	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)			(3)			
1級和服(第46回)解答																				
得点																				
学校名	高校				学年		組	番号		氏名			合計							

1級（和服）筆記問題

1. 下図は女物ひとえ長着のできあがり図である。(1)から(3)のそれぞれの名称を解答欄に記入しなさい。



2. 下図は和服のへらともさしを使ったしるしつけの方法を示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文の①・②に最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

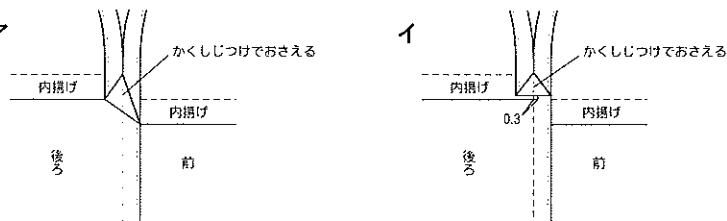
しるしつけでは、まず布を正しくそろえて重ねることが大切である。そこで山・肩山などの布目は正しくまっすぐに通してへら台の上に置き、まち針で(①)をとめてから行う。へらは(②)を上にしてにぎってまっすぐに立て、ものさしの端をぴったり当ててつける。

- ア 真ん中 イ 親指
- ウ 四すみ エ 人差し指

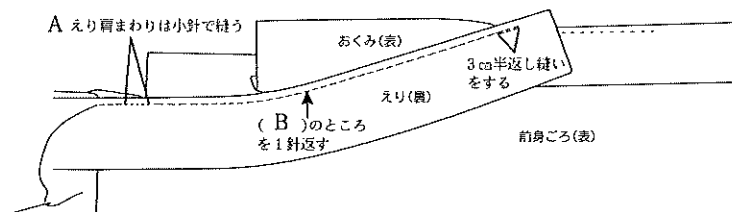
(2) Aのしるしつけの名称を解答欄に記入しなさい。



3. 下図は男物ひとえ長着のわき縫いしろの始末である。内揚げの多い場合はア・イのどちらが適するか記号を解答欄に記入しなさい。



4. 下図はひとえ長着のえりの縫い方を示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。



(1) 図中Aのえり肩まわりを小さい針目で縫う目的をアからウまでのの中から、最も適するものを一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア えりに平均的なゆるみを入れるため
- イ えりに張りをもたせるため
- ウ えりにゆるみを入れないため

(2) 図中Bに適する語句をアからウまでのの中から、最も適する語句を一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 肩先 イ けん先 ウ 背縫い

5. ゆかた地で女物ひとえ長着を仕立てるとき、次の(1)・(2)の縫い方について最も適するものを、それぞれのアからエまでのの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 背縫いしろは
 - ア えり肩あきを右手に持ち手前に折る
 - イ 割る
 - ウ 毛抜きあわせにする
 - エ えり肩あきを左手に持ち手前に折る
- (2) おくみつけ縫いしろは
 - ア おくみの方へ倒し、三つ折りぐけをする
 - イ おくみの方へ倒し、耳ぐけをする
 - ウ 前身ごろの方へ倒し、耳ぐけをする
 - エ 前身ごろの方へ倒し、三つ折りぐけをする

6. 次の文は、女物ひとえ長着にさらしもめん45cmのいしき当てをつける方法について述べたものである。文中の(1)から(3)に最も適するものをアからカまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・いしき当ての下端を1cm折って(1)をし、上部も1cm折っておく。
- ・身ごろのすそから(2)に5cmを加えた位置にいしき当ての上部を合わせて置く。
- ・いしき当て幅の中央を背縫いに(3)する。
- ・いしき当ての上部の角を3cmほど三角に折る。
- ・いしき当て幅の両側は耳ぐけをする。
- ・いしき当て上部は折りぐけをする。

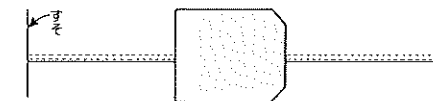


図 いしき当てのつけ方

- ア えり下寸法 イ 本ぐけ ウ 中とじ エ 耳ぐけ オ 伏せ縫い カ おくみ下がり寸法

7. 次の(1)・(2)に最も適するものを、アからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 袋帯 (2) 半幅帯
 - ア 帯の表面だけに柄があり、礼装・外出用に用いられる
 - イ 男性が用いるもので、一般的には博多帯のものが多い
 - ウ たれと手の部分があり、手の部分は半幅に折られているのでしめやすい
 - エ 帯揚げ、帯じめを用いないので、手早く結べる

8. 次の文は、ひとえ長着のえりを身ごろに縫いつけた後の始末について説明したものである。(1)・(2)に最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- 縫いつけたえりには0.1cmの(1)をかけて縫いしろをえり側に折る。そのあとえりをしっかりさせるために(2)にしんを入れる。
- ア えり肩あき イ 身ごろ ウ 力布 エ きせ

9. 次の文は、そでの丸みの始末について述べたものである。文中の(1)・(2)に適する数字または語句をアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- そで下・丸み・そで口下の縫いしろに(1)cmのきせをかけて、(2)側へ折る。縫いしろの下に丸み型を入れて、丸みに合わせて縫い糸を縮めてひだを寄せて、ひだ山を整える。ひだ山を返し針でとめる。
- ア 0.5 イ 前そで ウ 0.2 エ 後ろそで

問題	1			2			3	4		5		6			7		8		9	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)		(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
	①	②	A																	
1級和服(第47回)																				
解答																				
得点																				
学校名	高校			学年			組	番号		氏名			合計							

1級 (和服) 筆記問題

1. 次は男物ひとえ長着について述べたものである。文中の(1)・(2)に最も適するものをアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
- ・身たけは、おはしよりをつけしないで、(1)に仕立て、ついたけにする。
 - ・(2)のあきがない。
- ア 身たけ イ 内揚げ ウ 身八つ口 エ 着たけ

2. 次の文の(1)・(2)に最も適するものを、アからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

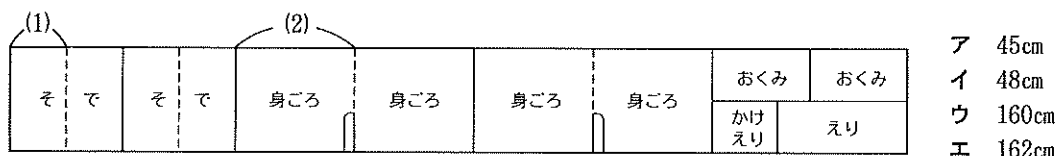


女性の和服の着装では、左図のようにえりの後ろを背中の方に落として着る着方をする人が多い。そのためには、えり肩あきを肩山の位置より(1)側へずらしておかなければならない。このずらし分を(2)という。

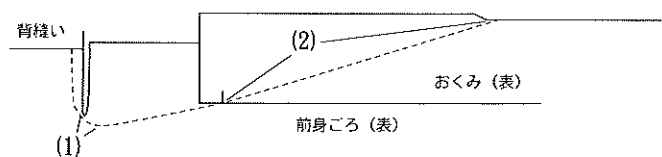
- ア 前身ごろ イ 後ろ身ごろ ウ 袷衣紋 エ くりこし

3. 浴衣の反物の布調べと地直しについて、文中の(1)・(2)に最も適するものを、アからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
- 布の表裏に差がなく見分けにくいものは、布端に1mくらいの間隔で(1)をつける。その時、染めむら・織りきずなどの有無を調べ、きずが大きいものも(1)をつけておき、裁断の時に(2)部分に持つ。同時に布の幅と長さを確認しておく。
- ア 目立たない イ 布の中央 ウ 直角 エ 糸じるし

4. 下図はゆかた地を用いた女物ひとえ長着(内揚げなし)の裁ち方を示したものである。(1)・(2)の寸法について、最も適するものをアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

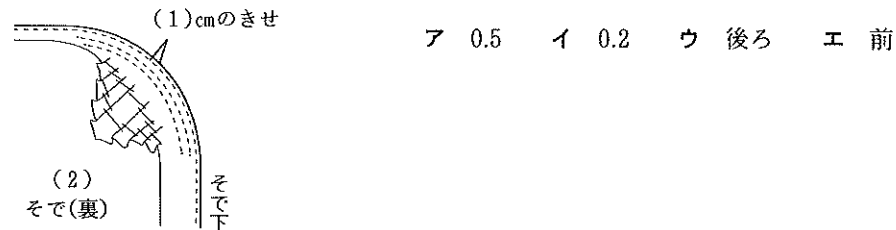


5. 次の文は女物ひとえ長着の縫い方について述べたものである。文中の(1)から(3)に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。
- ・おくみつけの縫いしろの始末は(1)にする。
 - ・えり下・すその始末は(2)にする。
 - ・すそぐけでは、背縫い・わき・おくみの各縫い目の(3)で1針くける。



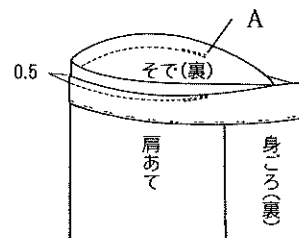
- つりあい
- ア 身ごろをゆるめる
 イ えりをゆるめる
 ウ えりがつれないように
 エ えりと身ごろを平らにする

7. 下図はそで下の中縫いと丸みの始末である。(1)・(2)に最も適する数字または語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



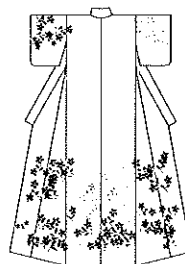
8. ひとえ長着の製作について、次の(1)・(2)の縫いしろを折る方向で正しいものを、それぞれのア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
- (1) えりつけ ア えり イ 身ごろ
 (2) わき縫い ア 前身ごろ イ 後ろ身ごろ

9. 下図はそでつけの縫い方を示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。(そでつけは手縫いとする)



- (1) そで側から見た場合、図中Aの位置をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
- ア そでつけどまり イ そで口どまり
 ウ そで山 エ そで下
- (2) 図のようなそでつけ方法の名称を解答欄に記入しなさい。

10. 下図のきもの種類についてその名称を、アからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 留袖 イ 訪問着 ウ 喪服 エ 振袖

問題	1		2		3		4		5			6		7		8		9		10
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
1級和服(第48回)解答																				
得点																				
学校名	高校				学年		組		番号		氏名				合計					

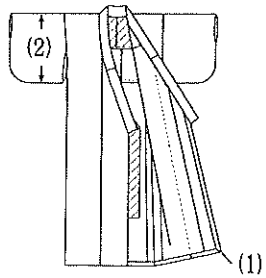
1級 (和服) 筆記問題

1. ひとえ長着について、次の(1)から(3)に最も適するものをアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ひとえ長着は (1) をつけないひとえ仕立てのものをいい、和服の基本的な形であり、和服製作の基礎である。(2) 的に構成されている洋服とは異なって (3) 的で、全体にゆとりがあり、着方に融通性があるのは一つの特徴である。

- ア 平面 イ 直線裁ち ウ 表 エ 立体 オ 裏

2. 下図は女物ひとえ長着のできあがり図である。(1)・(2)のそれぞれの名称を解答欄に記入しなさい。

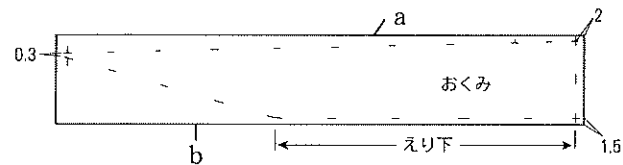


3. 次の文は和服の柄合わせについて述べたものである。(1)・(2)に最も適する語句をアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

和服を製作するとき、特に柄の大きいものは、その配置のしかたによってまったく異なった感じになるので、背縫い合わせ、身ごろと (1)、おくみと左前身ごろの柄合わせに注意するとよい。大きな柄の飛び模様では、柄が二つ (2) に並ばないように注意する。

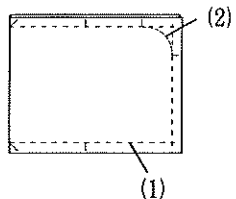
- ア 逆さ イ そで ウ 右前身ごろ エ 横 オ 無地

4. 下図はおくみのしるしつけを示したものである。次の問いに答えなさい。



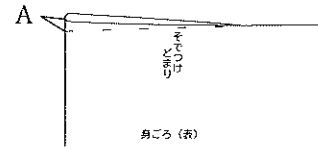
- (1) 布の耳は図中の a・b のどちらかを解答欄に記入しなさい。
 (2) 図中の「えり下」に最も適する縫い方の名称を解答欄に記入しなさい。

5. 下図はそでのしるしつけである。(1)・(2)に最も適するものをアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



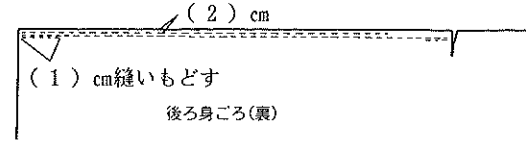
- ア そで口下 イ そで下 ウ 丸み
 エ そで口 オ ふり

6. 下図はひとえ長着のそでつけを折りつけにする場合の縫いしろの折り出し方を示している。Aに最も適する寸法をアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



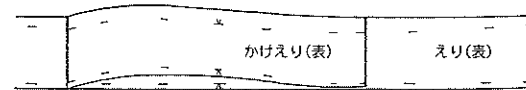
- ア 0.1cm イ 1.0cm
 ウ 0.3cm エ 0.5cm

7. 下図の女物ひとえ長着の背縫いの縫い方について、(1)・(2)に最も適するものをアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 2 イ 5
 ウ 0.2 エ 0.8

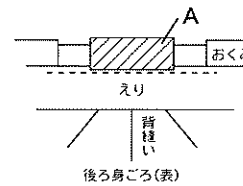
8. 下図のように、かけえりを本えりにあらかじめつけてから、一緒にえりつけをする方法を何というか、名称を解答欄に記入しなさい。



9. 手縫いでひとえ長着を製作するとき、すくいどめでしっかり縫いつけなければならないところを、アからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア そで下縫いどまり イ 身八つ口どまり ウ けん先位置

10. 下図中Aのしんを入れる目的をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア えりをしっかりさせるため
 イ かけえりをつけやすくするため
 ウ えりがつれないようにするため

11. 次の文の(1)から(3)に最も適するものをアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

和服は形の上での変化はないが、えもんの抜き加減、(1) の合わせ方、(2) の加減などで着装の雰囲気が変わってくるものである。季節・(3)・年齢にふさわしい着装や、帯結びをする。

- ア 目的 イ 装い方 ウ えりもと エ 着たけ オ おはしより

1級和服(第49回)	問題	1			2		3		4		5		6	7		8	9	10	11		
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)				(1)	(2)	(1)
解答																					
得点																					
学校名	高校			学年		組		番号		名前		合計									

1級 (和服) 筆記問題

1. 次の文の(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

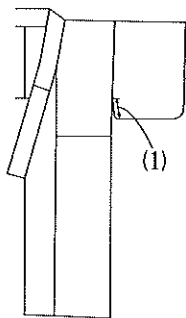
身ごろとそでは、肩山とそで山が (1) で前後に続いており、ゆったりと前で打ち合わせるために (2) がつく。身ごろのたけの約 (3) の位置までえりが左右続けて長くつく。

- ア おくみ イ 1/3 ウ わ エ 半分 オ くりこし

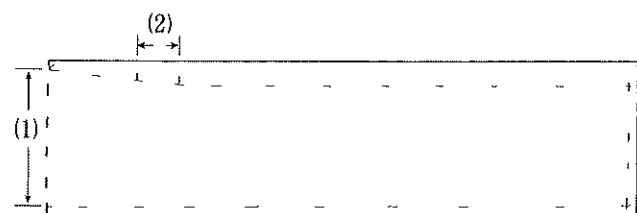
2. 次の文は和服の特徴について述べたものである。正しいものをアからオまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 平面の布を体型に合わせて立体的に構成したものである
- イ 着つけは容易で体にぴったり合い、活動的である
- ウ 平面の布を直線的に構成し、立体的に着用するものである
- エ 身体に直接布を当てて形をつくり、布を裁断する立体裁断もある
- オ 同寸の着物を、体格に多少の差があっても着ることができ、融通性がある

3. 右図は男物ひとえ長着のできあがりを示したものである。(1)の名称を解答欄に記入しなさい。



4. 下図は女物ひとえ長着の身ごろのしるしつけを示したものである。(1)・(2)に最も適するものをアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア おくみ下がり イ 身八つ口
ウ そでつけ エ 前幅+0.4cm
オ 肩幅+0.4cm

5. 次の文は女物ひとえ長着の縫い方について述べたものである。(1)・(2)に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。

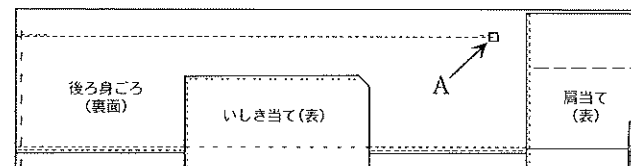
- ・ そで下は (1) にする
- ・ そで口の始末は (2) にする

6. 次の(1)・(2)は和服の製作に用いる用語の説明である。最も関係のある説明をアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) そでつけどまり、えり先などを丈夫にとめる方法。表裏左右など四枚の布をとめる
- (2) 表地と裏地が離れるのを防ぐため、縫いしろどうしをとじあわせること

- ア 十字どめ イ かくしじつけ ウ 中とじ エ 四つどめ オ すくいどめ

7. 下図はひとえ長着のわきの縫い方を示したものである。次の(1)・(2)の間に答えなさい。



(1) わきの縫い方の手順について述べた文中の①・②に最も適する語句または数字をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

しるしどおりに平らにまち針をうつ。身八つ口は3cm返し縫い、すそで5cm返し縫いにする。縫いしろは (①) cmのきせをかけ、前身ごろ側に倒し、(②) で始末をする。

- ア 0.5 イ 0.2 ウ 本ぐけ エ 耳ぐけ

(2) 補強のためにつけるAの布の名称を解答欄に記入しなさい。

8. 下図は女物ひとえ長着のえり先の始末を示したものである。えり先の折り方で正しいものを、ア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. えりの本ぐけのしかたについて、最も適するものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 身ごろよりえりの針目を小さくすくう
- イ 身ごろのえりつけの糸だけをすくう
- ウ 身ごろよりえりの針目を大きくすくう
- エ 身ごろとえりを同じ針目ですくう

10. 次の(1)・(2)に最も適するものを、アからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 既婚女性の正装で、五つ紋とすそ模様があるのが正式である
- (2) 男性の正装は既婚・未婚関係なく、紋つき・羽織・はかまをつける

- ア 留袖 イ 振袖 ウ 喪服 エ 黒紋服 オ 訪問着

11. 女性用和服のバッグについて、慶事に用いるものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 黒のグログランや布製のもの
- イ エナメル製の中型のもの
- ウ 布製 (佐賀錦), 又は小型のビーズのもの

問題	1			2	3	4		5		6		7			8	9	10		11
	(1)	(2)	(3)			(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)			(2)		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)						
1級和服(第50回)																			
解答																			
得点																			
学校名	高校				学年	組	番号		名前			合計							